

次官



明治二十九年四月十三日達濟

記録課長



浄書校正原簿
廿九年四月十二日

明治二十九年四月十三日達濟
同日
四月十三日
午後
松井



送第六六號

土

政務局長



大山陸軍大臣宛 外務大臣

伊集院公使館之書書記官ヨリ現玉臨時台灣

電信建設部長宛別紙海底電線布設船

才四面割掃全領收証差出ヲ趣ヲ以テ今般

外務省

在英加藤公使ヨリ送越月二日茲ニ及由廻付

月弓右児玉部長へ由轉付相成度也

次官
閣下

主管
政務
中田

P'burg April 11 '96 4-23 pm
Rec'd " 12 " 9-20 am

Mutten
Tokio.
在英公使- 21- 沖繩丸
will leave for London about 四月
十三日 Allen fell suddenly ill cannot
take charge. To avoid delay I
am engaging a Captain to take
ship to London. In case Allen re-
covers in time for ship to leave
London he will take command;
if not new Captain must be
appointed or 片岡 promoted.
Brown says 片岡 able Captain
but unacquainted with route
to Japan also with telegraph
work but if new Captain is
to be appointed man whom I
am engaging for trip to London
can be continued. He is experienced

電受第
二七五
號
93^u



三十年一月九日 録

2

in telegraphic operation, telegraph
work and can be either for
voyage to 長崎 only or for a
fixed term. What shall I do
I ask for immediate instructions.
Kiss

電受第
號

3-2066

0463

中田

次官

明治 年 月 日 起
同 年 月 日 終

作

土任

電信 文 四月十一日 着

陸奥大臣 在英 加藤公使

第二一号

沖繩 四月十三日 頃 倫敦 へ 向 出 為 ス

氏 俄 病 罹リ 船長 任 當ルコト 得ズ 依 本使

延スルコト 無カラシメ ンガ 為 ノ 該 船 倫 敦 へ 廻 航 セシムベキ

外務省

船長 目下 雇 入 中 ナリ 該 船 倫 敦 へ 出 為 ス

アレン 氏 病 氣 本 復ニ 至ラバ 同 氏 船長 任 為スベシ 若シ

然ラザル 時ハ 新クニ 船長 任 命 可キ 然レバ 岡 氏

ヲ 進 級 スルコトニ 決 意 有ラバ 同 氏 ノ 言ニ 依リ 岡 氏

船長 タルベキ 技能 アレドモ 日本 國 へ 航 路 兼 電 線 敷 設

工 事 ヲ 知ラズト云フ 然レドモ 新クニ 船長 任 命 スルコト

ハ 本 使 ガ 倫 敦 へ 廻 航 為 ノ 雇 入 中 ナリ 引 続キ

船長 タルベキコト 得ヘシ 此人ハ 電 信 技 術 及 電 線 敷 設

工事に経験アリテ長崎迄ノ航海ダケニテモ或ハ一定ノ
期限間雇入ル^{ニテモ}ノ^{ニテ}隨意タルベシ、就テ如何取計^{フベキ}カ
至急訓令^ヲ下^{ラセ}テ

外務省

電信課

廿九年四月十四日接受 主管 政務局中田



次官

發送 臺灣 第五〇八號

第三二二〇〇

アールレ氏為案之為、計擬九回航、信當ルコト、
 海公儀、代人程入、件年、初、為、公、使、電、報、文、
 海、邊、層、之、報、了、案、者、信、報、備、取、出、資、法、アールレ
 氏、病、業、情、態、之、由、之、元、ト、キ、以、初、長、ト、シ、多、長、均、
 週、航、如、今、約、束、ヲ、以、テ、外、島、人、ヲ、程、入、方、初、為、公、使、
 入、方、極、力、ヲ、以、テ、電、報、ヲ、以、テ、案、者、信、報、文、
 案、者、之、由、信、報、也、
 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣

外務大臣 敬啟

重訓 案

アールレ、代、人、通、商、初、長、案、者、信、報、文、見、子、手、先、ツ、長、均、法、一、
 社、入、アールレ

三十年一月九日記錄課接受

陸軍省

3-2066

0467

中田

Kato,

London

21. From 陸軍大臣 you are requested to engage at your discretion a suitable captain in place of Allen for trip to Nagasaki.

Mutsu.

April 14. 1896.

電送第 三〇二號

陸軍省依頼

三十年一月九日 記録課受

3-2066

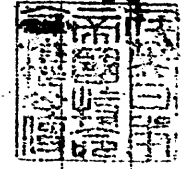
0468

花と成るは其他別と名極者員通例軍艦ノ
一等機関士ヲシテ該短所ノ對ニ報告シテ
シ其期印ノ上更ニ勤事員又ハ其他官吏ノ証
明ヲ要スルコトハ例トスル後ニ有之假令前記
如キ保証機関士ヲ兼テシテ別ニ在等ノ手
數ヲ有スルコト得ルハ其ノ者ニ候然レハ口頭
會社ニテ實際前記ノ如キ野機関士ノ機
関取扱主任タルコトヲ承認シ居ルニ際シ能ク
當面アリ特ニ保証機関士兼テシテ申上ル
更ニ幾分費用ヲ支出シ而シテ其執業ニ至リテハ
別ニ保証ノ手續ヲ有スルコト得ルハ後ニ有之符
號會社ノ之ニ對シテ何等ノ申上ル無之以上ハ
右條ノ件ニ此條ニ打控置ルコト得ルモノ有之

在英國日本公使館

將又今日止ノ様子ニテハ午後モ三野機関士對
製法者有テ故障申出ルコト有之右條ノ旨ヲ
之旨ヲ申出本條モ其意見同意シ若シ此後
右件ノ付口頭會社ノ何等申上ルモノ有之
於テハ其際陸軍大臣ニ依テ趣ニ從ヒ陸機
台計可致候(共ニ申上ルコトニ當テハ別ニ當面
問答ヲ起シセザルコト決シ候旨此點アリ
同之旨一書後條におきテ右申上候數員
明治廿九年三月十三日

在英
特命全權使加藤高明
外務大臣臨時代理
任前西園寺公望殿



明治二十九年四月二十二日達濟

記録課長



浄書校正

明治二十九年四月二十二日



廿九年四月二十一日

送第 八二 號

注

次官

政務局長 中田

大山陸軍大臣宛

外務大臣

海底電線布設船沖繩丸に保証機関士

兼込 一六二号ヲ以テ由依頼ノ次有之ヲニ付其旨在

一九二九年四月二十二日

外務省

英加藤少使へ相達置其處右ニ付今般四公

使ヨリ別紙ノ通申越 右字及由送付

也

分紙公方之ノ(平)字

多ク之ノ(平)字

47

次官
閣下

廿九年四月十八日接受

主管 政務局 中田

公事 三十九号

中野 九郎 氏 引度 正 如 之

三十九号

中野 九郎 氏 引度 正 如 之
閣下 於 本年 四月 廿六 日 公 事 三十九号
ヲ 以 同 日 附 電 報 不 同 号 字 號 陸 海 軍 省
書 題 如 左 年 細 及 吳 申 置 陸 海 軍 省
多 少 之 氏 年 籍 面 簿 檢 査 檢 査 檢 査
數 日 之 内 進 行 檢 査 多 少 本 月 廿六 日 迄
轉 送 爲 止 未 了 一 周 內 檢 査 終 局 未 日 差
引 度 正 如 之 中 野 九郎 氏 引度 正 如 之
及 引 度 正 如 之 中 野 九郎 氏 引度 正 如 之
右 申 引 度 正 如 之 中 野 九郎 氏 引度 正 如 之

在英國日本公使館

廿九年三月十三日

中野 九郎 氏 引度 正 如 之

陸 海 軍 省 印

陸 海 軍 省 印
任 務 在 此 結 束 代 理
任 務 在 此 結 束 代 理

中田
本件
引度
正如
之

後高 中田

成門渡正如

三十七

成門渡正如
此書并引渡正如
月廿六日
細及吳申
陳、杜、攝、六、左、落、成、高、宗
此書乃本月廿六日
用、白、子、經、了、然、向、未、日、差
干、重、三、多、の、信、由、之、付、付、此
計、有、長、の、市、後、標、也、今、度、此
數、月、矣

在英國日本公使館

三月十三日

命、重、權、公、使、
大、藏、高、明

時代、代理、
重、権、公、使、
大、藏、高、明



中田

件、綴、也、成、成、美、日、之、陸、軍、上、長、
又、期、日、不、加、藤、後、之、河、間、合、之、委、也、該、船、ハ、已、該、工
之、運、電、タ、リ、且、趣、口、之、也、之、運、電、也、成、此、也、
本、件、ハ、本、日、之、也、之、運、電、也、成、此、也、
本、件、ハ、本、日、之、也、之、運、電、也、成、此、也、

3-2066

0474

廿九年四月二十四日接受

主管 政務局 中田

公文卷位五號

文第 四〇五〇

海産線布被船三箇元件

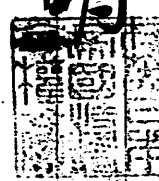
伊集院三善書記官より見玉臨時其至
所与電信建設部長宛別紙署名あり
及此送附被り可然以計五箇元被
申進被被具

明治廿九年三月廿日

古笑

特命全權使加藤高明

外務大臣臨時代理
侯爵西園寺公望



廿九年四月二十四日

在英國日本公使館

次官
閣了

次
覽了

明治二十九年四月二十四日達濟

記録課長



浄書 校正 原

21

明治二十九年四月二十四日達濟
同日 四月二十四日 午後



土

政務局長 中田

送第 八 八 號

大山陸軍大臣殿

陸奥外務大臣

平素院公使館書記官より頃玉臨時甚

海軍信建設部長宛別紙海底線布設

外務省

船関及ハは拂内譯書差出候趣ヲ以テ在

英國心懸之候事一漢字有之候存茲及

御轉送候間可然計相成度以候

申進候也

次官



逓信省
電報局
中田

Petersburg April 25. 1896. 12.58 P.M.

Received " 26 " 2.00 "

Mutsu,

Yokio.

在英公使 24. New captain
of 沖繩丸. I engaged and Brown strongly
recommends engagement of two experienced
European cable hands for laying the cable
to Formosa is extremely difficult and
absence of experienced men may
result in considerable loss. Approximate
salary ten pounds each monthly. Wait
for instructions.

Yours

電受第 三一九號



三十年一月九日 記録課 受

廿九年五月廿七日 記録課 受

3-2066

0477

明治 年 月 日 譯成

翻譯課長

翻譯主任

電信文
海峽殖民地
日誌

陸奥大臣

在英

加藤公使

第二四号

本使が雇入ル新任沖繩丸船長及コラオニ
氏は台湾島海底電線ヲ布設スルハ非常
ナル難事ニシテ僅駭ル歐洲人ナキ時ハ具結果
大ナル損失ヲ見ルニ至ルベキガ故ニ電線布設工事
ニ従事スル者ハ歐洲人ヲ雇入レントウ切リニ勸告
ス俾給事ナシテ日 拾得ガリ 訓令ヲ待ツ

外務省

再出 去島

次官閣下

明治二十九年四月二十七日達濟

記録課長

浄書 校正

36

明治廿九年 四月廿七日起片
同 年 八月 一日 發清

政務局長 中田

送第 九 式 號

原外務次官

現玉臨時台湾電信建設部長宛

台湾島、海底電線布設、州政州人雇入、

義、関、別紙、訳文、通在英加藤公使ヨリ

電報有之、并、就、テ、何、公、使、へ、電、回、河、

廿九年五月七日記録課授

外務省

都合有之、并、少、陰、議、上、何、否、し、再、回、答、相

成、度、也

至急

廿九年四月二十九日接受

主管 政務局 中田

電信課



次官

第三五〇番文

臺灣電報第五五三號

是日臺灣島内海底電線が、政州人侵入
に因り、断絶したる事、加藤公使より電報に
文り、添付申載せられたる事、政州人侵入
線が、断絶したる事、加藤公使より電報に
見込、付、大急ぎにて注意せられたる事、
成迄、付、及、以、冬、身、及、信、務、也、
追、テ、電、報、料、一、部、部、は、排、外、也、
古、以、來、求、知、者、一、部、部、は、排、外、也、
可、信、不、知、者、一、部、部、は、排、外、也、

臨時臺灣電報局長加藤公使



三十一年一月九日録

陸軍省

外務次官 原敬 殿

加藤公使 訓電
海底電線が断絶、政州人侵入、及

政務局

中田

Kato,
London.

27. From 陸軍大臣 no need to
engage European for laying the cable.
Muter

April 29, 1896

電送第三四六號



陸軍右依頼

三十年一月九日 記録部

3-2066

0481

次官



廿九年五月四日接受 主管 政務局 中田

支等 田三三〇一號

公第廿六号

英女書庫直序

沖繩丸接載海軍部送還之國元件
漢船沖繩丸接載之電報係漢方所發之件
本年五月十三日附公第廿六号之送還之國元件
係屬奇收アラシク民ヲ引命之直在係漢方所發之件
申越係漢方引命之件又係在公第廿六号之送還之國元件
中之六月三日所送之國元件係漢方所發之件
陸軍部之件不及由同是係在去月十日所
送之國元件同其日附公第廿六号之送還之國元件
既係漢方所發之件又係在公第廿六号之送還之國元件
係屬奇收何能可也陸軍部之件不及由同是係在去月十日所
送之國元件同其日附公第廿六号之送還之國元件

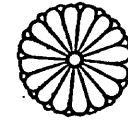
廿九年五月六日

在英國日本公使館

在英特命全權公使



外務大臣隨時代理
任守西園寺公望殿



TELEGRAPHIC ADDRESS:
"NEMESIS," GLASGOW.

JAPANESE CONSULATE,

~~25 QUEEN STREET,~~
24 GEORGE SQUARE,

Glasgow, 13th March 1896

Your Excellency,

The cable on board
the s.s. "Okinawa Maru" has been
covered at 12 1/2 per cent. to the amount
of £26300, of which I trust you will approve.

I have the honour to be

Your excellency's obedient servant,

per pro A. R. BROWN

Consul

A. R. Brown

His Excellency I. Kato

His Imperial Japanese Majesty's Envoy Extra-

ordinary & Minister Plenipotentiary

Japanese Legation.

London

3-2066

0483

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

明治二十九年五月六日通達

記録課長

浄書
廿九年五月五日

明治廿九年五月六日
同 年 五月 六日 發消

松井

極

廿九年五月五日

注 任

次官



政務局長 中田

送第一〇一號

大山陸軍大臣宛 外務大臣

海底電線布設船沖繩丸に搭載スル電線ヲ

保險ニ付スル件ニ関シテハ去月日二日付送第百八二

号ヲ以テ及通牒置キ處今般右保險相済

外務省

廿九年五月六日記録課授受

取

此別紙字ノ通「アラウ」氏ヨリ申越サ旨在英

加藤多使ヨリ報告有之也此段及申通知也

在英日國本公使館

明治九年五月二十三日接受

主管 政務局 中田

四七五二

公使館長 伊藤 公使館長 伊藤 公使館長 伊藤
部員 長 亮 伊藤 公使館長 伊藤 公使館長 伊藤
以 長 亮 伊藤 公使館長 伊藤 公使館長 伊藤
公使館長 伊藤 公使館長 伊藤 公使館長 伊藤
明治九年五月二十日

特命全權公使 加藤 高 加藤 高 加藤 高
加藤 高 加藤 高 加藤 高 加藤 高 加藤 高

外務大臣 陸奥宗玄 殿

明治九年五月二十四日

3-2066

0485

廿九年五月十三日接受 主管 政務局 中田

公第西拾冬聯

沖繩丸船長病氣ニ付同船

但送方所分ニ付

次官

沖繩丸渡工ニ付ニ関シ陸軍大臣ヨリ海軍大臣ニ
對シ本月七日別紙甲早ク之通及電報被置也
其後同船ニ本月十日ニ減運轉ヲナシ無故障
ニ於テ本月十三日若クハ十四日ニ造船會社ヨリ別
渡ヲ受ケ直チニ倫敦ニ向ヒ廻航シ若クハ船
去ル七日付ヨリブラランヨリ同船々長アレシ
ニ痲風病ニテ卧床シ同船ノ別渡アルモ船長
ノ職務ヲ採ル能ハズ片岡田航員ニ英國
ヨリ日本ノ航路ニ経験ナルト突坐書信
有之故船々長ノ進退ニ関シテ陸軍

廿九年五月十五日 在英國日本公使館

大臣ヨリ御委任方受居ニ付何等ノ所分
出来第以御下ニ存候トモ是ニ付同船之事
非常ニ急進シ去上船長病氣ノ為リ廻航
遷延致シテ其方都合ト存シ且ツブラ
ラン書信ニ関シテ詳細ノ事情審テラス同
ノ時爲メ聞取度ナモ本船別渡前ニ用
務多忙ト存シ方伊集院ニ其旨書信官ニ
申官ノ意見ヲ申合ハシブラランハ協議ノ爲
シラスゴトハ去張致其決果トシテ臨時海
分致及大要ニ別紙電文ニテテテ通
本月十日付ヨリ及且申立及及及及及
右ノ旨伊集院書信官後余ニヨリ船長ア
レノ病氣ニ付生テリニエテラガツト三月

文第 四七五 一 號

0486

3-2066

四日、夜突、吐、癆、症、止、し、夫、ヨリ、身、体、運、動、自、由、
 ナラス、全、ク、臥、床、ニ、伏、シ、療、養、長、致、居、ル、ヲ、越、シ、
 ヲリ、生、命、ニ、掛、ル、初、第、ニ、無、ク、成、モ、ブ、ラ、ラ、シ、
 勿、論、船、長、自、身、モ、其、四、五、日、間、ニ、全、愈、之、
 見、込、キ、ヲ、以、テ、沖、繩、丸、ニ、引、渡、ラ、セ、リ、モ、其、
 職、務、ヲ、行、ヒ、カ、タ、キ、旨、ヲ、覺、悟、シ、居、ル、モ、如、ク、
 又、其、病、氣、ノ、疾、愈、ハ、日、々、期、シ、テ、治、全、ハ、キ、ト、
 ア、ラ、ス、然、ル、ニ、沖、繩、丸、引、渡、後、直、チ、海、ニ、往、線、
 積、込、ノ、為、ソ、テ、一、回、航、ス、マ、キ、旨、ナル、由、ナル、船、
 長、病、氣、ノ、為、ソ、テ、空、敷、グ、ラ、ス、ゴ、ー、ニ、傳、船、以、
 甚、ク、都、合、ナル、ハ、其、代、價、ブ、ラ、ラ、シ、ニ、認、議、ス、ル、
 片、因、回、航、負、ハ、己、ニ、日、々、ナ、リ、船、長、ヲ、モ、
 居、ル、モ、セ、リ、ア、レ、ル、代、價、ト、シ、テ、其、救、星、ニ、
 在、英、國、日、本、公、使、館、
 敬、テ、謝、意、ヲ、表、ス、ル、ト、ス、ル、モ、航、路、ニ、危、難、ナ、キ、ト、途、
 中、港、口、出、入、手、續、ノ、事、務、上、ニ、多、ク、内、外、ノ、見、
 渡、不、便、ヲ、ル、ヘ、シ、ト、ノ、意、見、ニ、首、之、以、テ、同、人、ノ、意、
 見、ヲ、モ、謝、約、シ、不、取、敢、テ、除、而、電、信、事、業、ニ、モ、
 任、務、アル、英、人、船、長、ヲ、時、時、ニ、往、入、レ、先、ッ、由、
 十、三、日、若、リ、ハ、十、四、日、ニ、於、テ、沖、繩、丸、無、事、引、渡、
 五、角、上、ニ、猶、務、ナ、リ、イ、ム、ス、ニ、回、航、ヲ、引、受、
 ケ、レ、ル、ノ、要、約、ヲ、為、シ、夫、ヨリ、海、底、線、積、込、ニ、
 指、目、外、ノ、要、ス、ル、由、ナル、ヲ、以、テ、其、間、ニ、ア、レ、ル、病、
 氣、不、佳、愈、船、長、ノ、事、務、ヲ、モ、一、任、得、旨、有、ル、由、坐、
 同、ム、ラ、シ、テ、日、々、回、航、ノ、任、ニ、當、ラ、シ、ハ、キ、モ、若、シ、
 不、善、キ、シ、テ、ア、レ、ル、ノ、病、氣、不、佳、愈、ニ、至、ラ、ス、船、
 長、ノ、事、務、ヲ、採、リ、難、キ、ニ、於、テ、ハ、前、陳、テ、イ、ム、ス、

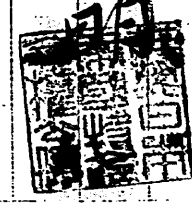
三ノ船時雇入船長ヲ僱然シ其期限ハ
 長崎港ニ着船迄ナリ或ハ其後別續キ
 若干ノ期限間雇入ノコトナリ陸軍大臣ノ
 而回答ヲ待テ何レモ取極メテトコブララシト内議
 多制正置セザル又ブララシニ於テ良船長ノハ
 多クモ首ニ及ニ趣ニ付不取敢同人ノ身分ヲ取
 調方都合ナキニ於テハ先ツアラシムコトナリ
 又上ノ日モ獨檢ニテハス一回航方取
 付及概ブララシハ在案置候右ハ陸軍
 大臣ノ伺之上所分可致右ニ為時日切迫伺
 而電文復ノ為ソ而船ヲ空シリ傳テ函スルニ
 至ルハキナ樹念心致ス本官專断ラシテ臨

在英國日本公使館

時所分所及此段陸軍大臣ノ而通牒ニ
 承テ概致候將又アレシ初多本全使セザル場
 合ニ於テ倫敷ヨリ日本一回航方分ニ就テ陸
 軍大臣ノ初合ヲ待居候此段申進候事且
 明治廿九年四月十日

在案

特命全權大使 加藤高明



外務大臣 伯耆 陸奥 宗光 殿

copy 甲
3

Dispatched 7 April 1876.
Nisii. petersburg
T. 20. 乙中船H is completed.
After docking and trial trip, she
will probably be delivered within
this week. Kato.

copy 甲
3

Dispatched 10 April 1876.
Nisii petersburg.
T. 21. 乙中船H will leave for London
about 四月十三日. Allen fell sud-
denly ill and cannot take charge. To
avoid delay I am engaging a captain
to take ship to London. In case Allen
recovers in time for ship leaving London
he will take command. If not new cap-
tain must be appointed or 乙中船H pro-
moted. Brown says 乙中船H able cap-
tain but unacquainted with route
to Japan also with telegraph work.
If new captain is to be appointed, man
whom I am engaging for trip to London
can be continued. He is experienced
in telegraph work and can be engaged
either for voyage to Nagasaki only
or for a fixed term. What shall
I do. Ask for immediate instructions.
Kato.

次官閣下

明治二十九年五月十四日達濟

記録課長



浄書(送) 廿九年五月十四日達濟

明治廿九年五月十三日起草
同年八月十七日發遣



主任

送第一〇八號

政務局長 中田

大山陸軍大臣殿

陸軍外務大臣

沖繩丸保險目積額在倫敦橫濱正金銀

行支店預入之義之関之件集院之簿三事

外務省

書記官 貝玉 陸軍大臣 通信建設部長 宛

別命 差出候趣之以上在英國加藤工使より速

身有之限存之及御轉送候條可然御計

相成度之既申進候也

明治二十九年五月十五日達

記録課長

廿九年五月十四日達

明治二十九年五月二十日起草
同 年 月 日發遣

松井 梅

送第一一〇號

主任

次官



政務局長 中田

外務次官 原 敬

臨時台灣電信建設部長

現 玉 原 六 郎 殿

沖繩丸船長アレン病氣、為ノ可船廻送方處

分、前在英加藤公使ヨリ未電、茲ニ関シ曩

ニ貴官ト往復致シ、處右ニ付ヨリ使ヨリ別

廿九年五月十五日記

外務省

紙、通申越、其、為、令、右、字、及、申、送、附、也

(馬込多々田千三子但留行又里又)

明治二十九年五月廿六日 達濟

記録書長



廿九年五月廿六日 達濟

浄書 校正原

明治廿九年 五月廿五日起草
同 八年 八月廿六日 發遣

主任

次官

政務局長 中田

送第 二九 號

大山陸軍大臣宛 外務大臣

「ロブニラ」會社ヨリ申出テ、沖繩丸落成延期ニ

對スル償金免除ノ事、^{請ホラ}拒絕シタル件ニ關シ別紙

ノ通在英加藤公使ヨリ申越スル右字及沙送

外務省

附也

(受取多字ノ事)

次官



在英日本公使館

廿九年五月廿六日記

廿九年五月十五日

主官 政務局 中田

公使四八號

五三九九

洋電九三回元件

別紙見玉臨時其臺灣電信建設部長
宛伊集院三等書記官より提出其進
攻間可然特送方而西計主殿方其段申進
攻器具

明治廿九年四月廿一日

在英

特命全權公使加藤高明
外務大臣伯爵野田正毅



次官



明治二十九年五月廿六日通濟

記録部長



明治二十九年五月廿五日起草
同年八月廿六日發遣



主任

廿九年五月廿六日通濟

浄書 校正 原 浄

7

政務局長 中田

送第 一 二 四 號

陸軍大臣 陸軍省 陸軍部

外務大臣 外務省 陸軍部

海底電氣 布設 那 沖 繩 九 州 等 處

公使館書記官 貝玉 臨時臺灣電信建設

外務省

部長 沢 別 蔵 差 遣 趣 以 在 英 國 加 藤 云

使 員 送 付 有 之 候 旨 並 且 御 轉 送 候 條 可 然

御 取 計 相 成 度 旨 既 申 進 候 也

3-2066

0495

廿九年六月一日接受 主管 政務局

中田

乙分五十二號

第五三一號

沖繩在法運轉之圖及報告及

同船造船証明書送付之件

次官



七月十日沖繩在法運轉奉行所當月之
 狀況及其法見別紙甲号乙号之通リニアルハ
 ラリシヲ報告書ニ添テ右ノ通リ同船法運轉
 之法見リ為シテ兼テ、契約面ニ合致スル事
 別添之別紙乙号之造船証明書ナルニシテ
 ニ之會社ト交付仕立之趣ニ付、是ニテ同船ノ所
 有權ハ、今ハ之ヲ移リ、法事ハ其所仕立
 タルニ付、当然陸軍省ニ移リ、係存前ノ成
 儀ト存シ、官便多ク且、貨物轉送スルハ、然
 然前所仕立之趣、亦申述スル故、且、

在英國日本公使館

明治廿九年四月廿九日

在英

加藤高明



外務省大臣官邸

3-2066

0496

別紙附録の類也
 乙字記帳の事有るは之を以て
 乙字記帳の中由多し部より聞けり
 信の事也

3-2066

0497

The Builder's certificate, which is the official document of Ownership is already in my possession.

Captain Lacy arrived here this morning, and I am much pleased with his appearance; he appears to be thoroughly conversant with Telegraph work. If nothing unforeseen happens the "Okinawa" will leave the Clyde for the Thames on Tuesday next.

I have the honor to be
your Excellency's obedient servt.
(Signed) A. R. Brown
Consul.

His Excellency

T. Kato,

His Imperial Japanese Majesty's
Envoy Extra. & Minister Plen.
London.

with this weight on board her mean draft of water was 15' 3", from which I estimate that at a draft of 17 ft she will carry about 100 tons in excess of the stipulated amount.

The speed obtained on four runs between the Cloch and Cumbrae Light-houses, distance from each other 13.666 knots was as follows:-

1 st Run against wind	12.058 knots
2 nd " with "	12.812 "
3 rd " against "	12.058 "
4 th " with "	12.950 "
	49.878 "

mean of four runs = 12.469 knots
As I have before stated the weather was very bad, or the result would doubtless have been considerably in excess of this.

On the 7th inst. the Builders had

had a preliminary trial on the measured mile, at which time the mean draft of water was 11 ft 5 inches, and the mean speed of two runs was 13.411 knots per hour.

During yesterday's trial the machinery worked in a highly satisfactory manner, and speaking generally I am very much pleased with the finish of the ship.

Under these circumstances I had no hesitation in accepting the ship as being fully up to her contract speed, as I am quite satisfied that she would have done at least a quarter of a knot better, had the weather been fine.

I this morning wired you as per copy enclosed, and hope to receive cheque on Monday.

The

甲
号

公
務
五
十
三
号
附
書

Copy

Compliments?
Japanese Legation
24 George Street
Glasgow 11th April 1896

Your Excellency,

I have now the honor to advise you that the trial trip of the S. S. "Okinawa maru" took place yesterday. Unfortunately it was blowing a half gale of wind and consequently the conditions were very unfavourable for obtaining the best results. The estimated weights on board at the time of the trial were as follows:-

Fresh water in Tanks	Tons	32.
Cable stores, Extra engine and other stores & spare gear	}	151.
Coal		
Water Ballast in double bottom		393.
Salt water pumped into cable tanks		151.
		<u>1200. Tons</u>

with

3-2066

0500

明治二十九年六月一日達濟

明治廿九年六月一日起草
同 八月二日發遣



廿九年六月一日達受

淨書 校正 淨原

土休

政務局長 中田

送第 二九 號

次官

西園寺外務大臣

大山陸軍大臣殿

沖繩丸試運轉上引渡濟、開港報告

并、同那造船證明書送付、并、存令版

廿九年六月二日記録
外務省

右、英國加藤子侯より別紙、通申、以、旨、右

来信、四、并、附、送、書類、一、併、送、付、也

51

0501

3-2066

廿九年六月二日接受 主官 政務局 中田

乙未六十一号

五二〇

沖隈丸船長新高着入ノ件

沖隈丸船長アレン病室ニシテグラスゴーヨリチームス迄
廻航ノ為臨時ヨリ船長トシテ入ノ件、アメリケツクニ十日分
ヨリ才田十三号ヲ以テ洋細申付、及候通、右之
其後、ブラウンノ周旋ヲ以テウヰルリヤム、ヒールンレ
レイナルモノヲ雇入レテ、ムスビニ事起航シ来リ候、

次官



然レ、其際陸軍大臣ヨリ、列紙甲輝富ノ通、電報
ヲ以テ四洲相成、必要ノ場合ニ於テ、本官ノ見込
以テ長崎止、回航ノ為、船長ヲ雇入レ、其ヨリ、右
之候而シテ一方アレンノ病室ニシテ、其後、後、四月廿日、
メ、其ヨリ、右ノ急、回航ノ模様、多ク、現、四月廿日、
医師ノ診断書、モ、單、アレンノ病症、十日位、
平癒ノ見込ナシトアリ、何、等、別、然、タ、見、込、分、
ノ、ナ、ズ、ブ、ラ、ウ、ン、ノ、病、室、ニ、シ、テ、右、ノ、病、室、
ヲ、以、テ、一、旦、中、途、ノ、候、モ、身、体、快、ハ、
中、々、急、ニ、船、長、ノ、病、室、ニ、シ、テ、
右、之、事、ハ、日、人、快、意、ニ、シ、テ、
ニ、ア、ラ、ス、ト、存、候、ハ、前、頭、
迄、回、航、セ、シ、ム、ト、シ、テ、
突、約、取、結、ビ、尚、回、西、子、馬、
突、約、ハ、グ、ラ、ス、ゴ、ー、
ヲ、以、テ、取、結、セ、候、
將、又、陸、軍、大、臣、ヨリ、
右、ト、右、之、事、ハ、突、約、
口、ト、致、尚、又、和、政、
在英國日本公使館

口ト致尚又和政ノ見込、ヨリ、
突約ハ、グラスゴーニシテ、
將又陸軍大臣ヨリ、
右ト右之事ハ、突約、
口ト致尚又和政ノ見込、

しむル。致軍右、固り村政府、於て必不健、
ノ新質、元モノミ、全ク移政府ノ遷、任スル
ノミ、若シ、應、相、協、度、協、合、於、本、協、約、通、每
月、五、十、磅、夫、支、付、相、協、候、ハ、日、人、於、テ、異、議、ヲ、
ハ、サ、ル、ベ、キ、ハ、勿、論、若、シ、又、何、等、變、更、相、協、度、協、合、者、
之、ハ、其、算、更、マ、日、人、ニ、申、協、議、相、協、度、協、合、者、
契、約、ハ、日、人、解、備、ノ、算、ハ、美、西、道、ノ、一、号、招、債、及、一
ケ、月、分、ノ、俸、給、ヲ、依、照、ス、ル、若、シ、其、他、ノ、事、項、ハ、契
約、書、ハ、就、テ、申、査、閱、相、協、度、協、候、

在英國日本公使館

乘、任、シ、多、ク、實、驗、ニ、方、之、止、ル、九、日、人、ガ、布、設、セ、シ、
主、ト、シ、テ、本、邦、近、海、船、ヲ、平、穩、ノ、海、区、ニ、止、リ、其、技、術、
ニ、於、テ、決、シ、テ、十、分、ト、シ、テ、其、他、本、邦、人、ハ、勿、論、本
邦、海、軍、中、ニ、モ、ア、レ、シ、シ、エ、及、フ、モ、ナ、キ、ナ、リ、然、レ、
本、邦、海、軍、間、ハ、平、時、ト、モ、海、軍、急、激、大、ノ、シ、テ、
暴、風、多、ク、要、ス、ル、本、邦、近、海、比、ス、レ、風、浪、途、ニ、劇、甚
ナル、ヲ、以、テ、若、シ、十、分、ノ、任、務、技、術、ヲ、備、フ、モ、ナ、キ、
シ、テ、ハ、布、設、ノ、際、高、ク、新、其、他、ノ、故、障、ヲ、生、シ、移、政、府
ノ、損、耗、ト、ナル、ト、妙、ナ、カ、ラ、サ、ル、シ、然、レ、高、頭、レ、シ、テ、
別、紙、丁、作、ル、ニ、右、之、以、道、海、軍、電、信、布、設、ハ、付、キ
テ、ハ、其、中、多、ク、ノ、任、務、ヲ、有、ス、ル、ニ、右、紙、作、ル、ニ、
リ、移、政、府、於、テ、若、シ、日、人、ノ、任、務、中、電、信、布、設、ノ、事
常、ク、任、任、セ、シ、メ、シ、ル、ト、大、ノ、可、能、ト、シ、右、之、以、道、

中ニハ他長ノ本意ノ意見ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 ニ於テ亦其ノ意ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 然レ其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 況モ其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 今日ヨリ其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 リテ其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 等之ニ其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 カレバ其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 次ニ又其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 レニ其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 入レバ其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 支テ其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ
 以テ其ノ意ヲ申述シテ其ノ意ヲ吐露セ

在英國日本公使館

在英

特命全權大使 加藤高明

外務省 伯音 陸奥守亮殿



*The Western & Brazilian Telegraph Company Limited
Blomfield House*

London Wall

London 31st October 1894

Captain W. H. Lacy joined the service of this company in January 1878. He has for sixteen years been in command of the company's Repairing Ships. During this period his conspicuous ability enthusiastic interest in his work and experience in the working of cables have been of the greatest service. When he first joined the service the company's system was such as to require most careful attention and the way in which Captain Lacy conducted the many cable repairing expeditions was uniformly attended with the most excellent results.

A strict disciplinarian and at the same time a thorough judge of men, particularly of sailors, his ship was always kept in the most excellent order. Apart from his qualifications, which in the judgment of his employers here, are second to none, as the Captain of a Telegraph Repairing Steamer, he has shown himself most kind and courteous and ever ready to lend a helping hand to those requiring such. A thorough gentleman and a most able Officer in every respect.

W. H. Wood,
Managing Director

Copy

April 24. 1876.

511
片
丙
号

Sir,
Acting under instructions from His Imperial Majesty's Government, I have much pleasure in appointing you to the Command of the "Okinawa Maru," and have to request that you will, as soon as the cable is on board, proceed without delay to Nagasaki via the Suez Canal, calling only at such ports en route as may be necessary for coaling purposes.

Whilst being particularly anxious that your ship should reach her destination at the earliest possible moment, you will however in consultation with the Chief Engineer so regulate the speed as to have due regard for the economy of coal.

As the paymaster is entrusted with funds to meet expenses of the outward voyage, you will please consult with him on all matters relative to expen-

diture or finance.

I have also to request that you will on the outward voyage as far as possible have every thing ready for commencing to lay the telegraph cables without delay after the arrival of the vessel at Nagasaki.

Please remember that the safety of the ship is at all times to outweigh every other consideration, and wishing you a safe and prosperous voyage.

I am, Dear Sir,
yours truly
(Signed) Kato.

Captain
to H. W. Lacy,
Steamship "Okinawa Maru"

mentioned conditions, the Government will pay to the second party, as remuneration for his services, at the rate of fifty pounds sterling per calendar month, commencing from the date attached hereto, it being understood that mess will be provided by the Government.

4. The Government, shall, also at the expiration of this agreement, provide to said William Heathorn Lacy with a First Class Mail Steamer's passage back to London, and also in addition pay to him the amount of one month's salary as pay during the voyage to England.

5. In the case of the happening of any loss of, or damage to the vessel, so that the services of William Heathorn Lacy are no longer useful to or required by the Government, then this agreement to be null and void, but the Government will in such case provide him with a passage back to England.

Takaaki Kato.

W. Lacy

Articles of Agreement made
and entered into this Twelfth day of
of April one thousand Eight Hundred
and Ninety six between His Excellency
I. Kato, acting for and on behalf of His
Imperial Japanese Majesty's Government
of the one part; and William Heathorn
Lacy, of the other part; Whereby it is mu-
tually agreed between the said parties
in manner following, that is to say:—

1. His Excellency hereby engages the
said William Heathorn Lacy, and he
on his part agrees to act as Commander
of Telegraph Steamer "Okinawa Maru"
on a voyage from Great Britain
to Nagasaki and or other port in
Japan; it being however understood
and agreed that this Agreement may be
continued at the option of His Imperial
Majesty's Government for a further pe-
riod as may be arranged.

2. The said William Heathorn
Lacy also agrees to devote the whole
of his time and attention to his
duties, and to guard and defend
the property of the Government from
spoil, waste, or injury. He will con-
duct himself in an orderly, faithful,
and honest manner, and comply with
the Rules and Regulations of the Govern-
ment.

3. In consideration of the due and
faithful performance of the within-
mentioned

Articles of Agreement made
and entered into this Twelfth day
of April One Thousand Eight Hundred
and Ninety six between His Excellency
I. Kato, acting for and on behalf of His
Imperial Japanese Majesty's Government
of the one part; and William Heathorn
Lacy, of the other part; whereby it is mutually
agreed between the said parties
in manner following, that is to say:

1. His Excellency hereby engages the
said William Heathorn Lacy, and he
on his part agrees to act as Commander
of Telegraph Steamer "Okinawa Maru"
on a voyage from Great Britain
to Nagasaki and or other port in
Japan; it being however understood
and agreed that this agreement may be
continued at the option of His Imperial
Majesty's Government for a further pe-
riod as may be arranged.

2. The said William Heathorn
Lacy also agrees to devote the whole
of his time and attention to his
duties, and to guard and defend
the property of the Government from
spoil, waste or injury. He will con-
duct himself in an orderly, faithful,
and honest manner, and comply with
the Rules and Regulations of the Govern-
ment.

3. In consideration of the due and
faithful performance of the within-
mentioned

Recd April 14th '96.

Koshi.

London.

21. From 陸軍大臣. You are
requested to engage at your
discretion _____ captain
in the place of Allen for
trip to 長崎

Mulvan.

引
掛
甲
子

明治二十九年六月三日達濟

明治廿九年六月一日起草

同八年八月三日發遣

主 他

廿九年六月一日發遣

淨書 校正 原

52

政務局長 中田

次官



送第一三五號

西園寺外務大臣

大山陸軍大臣殿

沖繩九那長新規廣入件關令殿

在帝國加藤公使より別紙通由該軍同右

外務省

寫差付也

通別紙中、有之候公事由三號、去月十五日

付送身一一〇号、以テ、陸軍軍區同右様所

弄知相國、以テ、陸軍軍區同右様所

別紙中、九那長新規廣入件第五十一編并所屬

書類各層付也

次官



廿九年六月八日 受

主官 政務局 中田

公茂 幸九 拜

五九二四

沖繩丸 新船長 雇入 事

アレン へ 通知 事 件

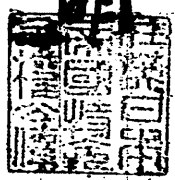
沖繩丸 新船長 雇入 事 件 係 趣 別 封 封 寫
 之 事 也 舊 船 長 アレン へ 通知 致 意 以 同 人
 之 疾 病 未 全 癒 一 ス 当 代 三 事 者 之 際 美 食 中 一
 趣 之 旨 云 云 其 旨 自 同 人 使 接 上 或 其 進
 退 之 執 事 如 官 之 事 者 其 旨 有 之 中 亦 存 在
 (トモ 如 官 之 事 者 一 人 進 退 之 所 分 之 務 限
 之 旨 改 之 旨 亦 存 在 一 直 接 向 之 旨 亦 存 在
 改 務 之 旨 亦 存 在 一 直 接 向 之 旨 亦 存 在
 改 務 之 旨 亦 存 在 一 直 接 向 之 旨 亦 存 在

明治廿九年五月六日

在英國日本公使館

在英

特使 加藤高明



外務大臣伯爵陸奥宗光殿

3-2066

0512

copy

15
5
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

April 25. 1896.

Sir,
I am instructed by the Japanese Minister to inform you that as you are indisposed so as to prevent you at present from taking command of the Cable Steamer "Okinawa Maru" as originally arranged, he has, under instruction from the authorities in Tokio, engaged another captain to take command of the ship on her voyage out to Japan and that the latter has already entered upon his duties.

Yours truly
(Signed) Rodera
Secretary

Captain J. K. Allen.
46. Oxford Gardens
Notting Hill.

廿九年六月八日接受 主官 政務局

中田

公茂五十辨

第五九三五

海産線布設外國技手雇入

二関元件

去月廿五日公茂五十号ヲ以テ及具報云
 通津羅丸長崎港回航ニテノ船長トシテ
 レーレーラ雇入及協同人等フランクヨリ
 甚多ク同海産線布設ニ事ニ甚ク困難
 ノモノニ付其途ニ経費ナル技手等ニ付テハ布設
 上程ニ付故障ヲ生シ決テ多ク國ノ技手ト
 可成ニ若シテ其計ヲ備テモ得テ者
 尙多ク三月月俸甚高ク給與セハ良技
 手有之モ亦多ク實際亦右ニ雇入同行方
 可トシテ類ニ勸誘ス處是等ノ事ニ素ヨリ
 在英國日本公使館

次官



お旨ノ客味ニツキ限ニ付シテ(トモ)其ノ折
 陸軍省特派員岡本技師モ其ノ中ニ在リ
 同人ノ意見ヲモテ付テニ其計ニ未カク其業
 ニ充テテ経費ヲ有ラズモヤカニ若シテ其業
 事ニ付テハ大ニ便宜ナラシム事ニ有リ
 於テモ同海産線ニ付テハ且ツ満足ニ
 竣工及義ニ必要ト存シ敷テ去月廿四日
 別紙甲号ヲ以テ通津羅報ヲ以テ及具報
 以テ有之及具報ニ付テハ同日別紙乙号
 通津羅山電車ニ付テハ船長トシテ
 (トモ)其ノ中ニ在リ(トモ)海産線搭載
 上程ニ付故障ヲ生シ決テ多ク國ノ技手ト
 可成ニ若シテ其計ヲ備テモ得テ者
 尙多ク三月月俸甚高ク給與セハ良技
 手有之モ亦多ク實際亦右ニ雇入同行方
 可トシテ類ニ勸誘ス處是等ノ事ニ素ヨリ
 在英國日本公使館

其應入禁約書之明記有三次通中繼在
長崎着之ゲノモリニ改(一)元同人ニ先便ニ申
上及通海ニ庄線布設事其業ニ大ニ修驗アル
モノニ在ルル如キ着ノ上更ニ在延絶ト成ルル事
業ヲ擔任任事ニ可ク成ルル事ヲ望ミテ事業
ノ完成ヲ期シ明年應入禁約書ヲ申出スルノ事
有之及此殿陸軍大臣(少通)陸軍大臣
敬具

明治廿九年五月二日

片真

特選提公使加藤高



外務大臣向壽陸軍大臣先殿

在英國日本公使館

copy

5514235
1896

甲
4

乙
4

Dispatched 24 April, 1896.

Nisii, Petersburg.

J. 24. New Captain of Okinawa man engaged and Brown strongly recommends engagement of two experienced European Cable hands, for laying the cable to Formosa is extremely difficult and absence of experienced hands may result in considerable loss. Approximate salary ten pounds each monthly. Wait for instruction. Kato

Received 30 April, 1896.

Koshi, London.

27. From 陸軍大臣, No need to engage European for laying the cable. Muter.

3-2066

0516

明治二十九年六月九日達濟

記録簿



浄書

29

明治二十九年六月九日
同 明治二十九年六月九日
起草
九日發遣



廿九年六月八日發

送第一四〇號

主任

次官



政務局長



大山陸軍大臣宛

外務大臣

沖繩丸新船長雇入ニ付具旨「ア」レニハ通知及

人病元収癒、上具進退ニ付伺方、件及海底

電線布設、為ノ外國投手雇入ノ件ニ関シ別紙

明治二十九年六月九日記録簿

外務省

、通在英加藤公使ヨリ申越ル事、右字及由送付

也

(五) 成ハタチ事(及)及公(及)事(及)字(及)但電投(及)事(及)果

在英國日本公使館

廿九年六月十六日 主務 政務局 中田

以英七十三號

津羅丸ニ関スル件

伊集院三等書記官ヨリ別紙見玉候旨奉
渡電信建設部長宛提出以テ今便差遣
以可御取計ニ為ル旨致敷具

明治廿九年五月十四日

在英

特權檢公使 加藤高



外務大臣白壽陸奥宗光殿

廿九年六月十六日記録簿

3-2066

05 18

次官
田中

明治二十九年六月十六日 達澤

証書
田中

明治二十九年六月十六日起草
同日一月一日發遣松井

田中

廿九年六月十六日發遣

淨書
校正
田中

28

主 任

政務局長 田中

送第一四四號

大山陸軍大臣殿

西園寺外務大臣

沖繩大第五回割拂金領收證送付件

閣下集院公使館三書書記官より里玉臨時

廿九年六月十六日記録簿受

外務省

其書信建設部長宛別紙奉送候御事

在英國公使館下邊より送付有之候件在御

轉送候條可也御計相度候由進也

廿九年六月十六日抄受

主官 政務局 中田

公第百二十二號

沖繩丸ニ関スル件

別紙ニ見玉時其旨傳テ電信建設部長ヨリ
 直接ノ通信ニ有之及處ニ未沖繩丸建造ニ関
 シテ陸軍大臣ノ依頼ニ基キ貴大臣ノ所訓令ニヨリ
 本官ニ於テ擔任致意及為是等他省依頼
 ニ係ル事件ニ関スル復ハ凡テ貴大臣ノ所訓令
 ハキテ之ヲ關係官衙ヨリ直接通信ヲ受ルハキ
 節ニ此ト存致シテ別紙封入差達及百五厘
 方可世而所計及成初及尤モ沖繩丸建造延期
 ニ関シテ此ニ答謝十二月六日公第百八号及本年
 一月世百廿八号及百三十三号ノ外本年三月十三日公第
 百三十三号ヲ以テ又該船落成延期ニ於テ其約書
 基キ一日或は船底船價ヨリ別去ル件ニ関シテ本年
 年二月十二日公第百八号及同四月十日公第百四十
 六号ヲ以テ及其中置置致意何レモ陸軍大臣一ツ
 移牒済ノ件ト存致シ及殿中進及致意
 明治廿九年五月十日

在英

駐英特命公使 加藤高明



外務大臣 齋藤實

次官
小

明治二十九年六月十七日達濟

明治二十九年

六月十六日起草

同

六月十七日發遣

送第 一 號

政務局長 中田

主任

廿九年六月十六日發遣

淨書
檢
封
印

29

小村外務次官

現玉臨時台灣電信建設部長宛

沖繩丸、関スル件、付貴官ヨリ在英加藤公使宛

發送相成別封直接通信、関シ別紙字ノ通リ

公使ヨリ申越ル處右直接通信、明治廿五年閣

令九号六月十八日記録調査受

外務省

令九号、旨趣、相及、居、斯、公使ヨリ

申出有之、或、被、存、右、様、知、相、成、度、因、

別封及、申、廻、付、石、少、落、手、相、成、度、七、前、記、貴

信、以、申、越、相、成、度、別、紙、中、有、之、申、通、加、藤

公使ヨリ報告有之、具、都、度、貴、省、通、牒、済、已、

詳細、了、知、相、成、度、存、此、段、申、進、也

(局、第、二、号、字)

為事務官

廿九年六月二十日 主管 政務局 中田

公第字第

勅令書類

六七一六

沖繩九州各道關元諸君台位現金前度變更
了見玉臨時其臺灣電信建設部長花園
勅令書送付件

内閣府建設省關元結末報告

沖繩九州各道關元諸君台位前度官使伊集院三
等書記交了見玉臨時其臺灣電信建設部長
花園勅令決等書提出致後付在及封入者
可然由前計成度比段申進使柳本館建設
關元之最初より在ララスから日本在
萬事一任らるる次第の有之使共其間同一
断然難取計事件も差起任らるる本館
時之便宜宜方施らるる場合も有之例
七月一日

在英國日本公使館

期限日數變更同船及其搭載電線係陸上止
期債金處理並其向船長務等為新船長
等之申付何れも其却度電報若し其書信
無漏及電報若し其書信之有之使
本館上電報若し其書信之有之使
海陸復原多端難難等之申付何れも其
同在難船公使館之出信中國府書記官
手第務以外ニ方ラカレ勤勞者之任
其度使將又ララカレ申付之使
其好良ニシテ速力モ充テ候之由
初契約取替際ノ注意ニ付テ是等
管保ラカレ先モ物ラカレ諸種不
竣工止切ラカレサリハ深ク遺憾
有之使在

公官

0522

3-2066

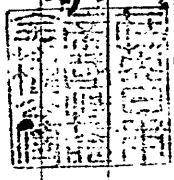
本館達去事件結果、報告上及且申任名陸軍
有、可然、移牒相成度候、敬具

明治廿九年七月廿二日

在英特命全權公使

加藤高明

外務大臣伯爵陸奥宗光殿



學中館達去事件付付、昨年八月日附電報
英人主号、以日本政府代表、以達去、契約、
又、其本邦、回航、多法、就、以、後、日、決定、ス、
大臣、經、陸軍大臣、有、以、後、船長、
未、英、件、付、同、月、廿、九、日、附、送、英、十、号、及、陸、軍、部

在英國日本公使館

負、外、水、火、未、英、付、同、月、廿、四、日、附、送、英、十、号、
陸軍大臣、了、時、常、紹介、的、依、約、趣、古、之、候、
而、也、外、本、館、引、渡、等、之、間、以、肝、心、各、義、人、
回、航、等、員、引、渡、人、先、(平、本、官、)何、等、之、通、知、
モ、無、之、候、(共、陸、軍、者、有、)船、長、ア、レ、ン、交、附、セ、
モ、ラ、セ、ム、(心得、書、)及、行、團、一、等、軍、轉、子、
航、心、得、書、中、記載、趣、等、引、渡、方、取、計、候、後、
之、者、之、候、在、其、其、筋、之、於、手、續、不、備、之、候、
候、付、此、段、之、申、候、候、特、以、本、館、其、其、趣、載、電、報、
係、陸、軍、部、等、之、申、候、候、送、附、書、之、趣、若、
各、附、之、事、件、差、起、候、候、其、必、竟、當、地、
其、處、方、可、致、苦、之、有、之、候、(該、証、書、本、館、
致、留、候、右、之、申、候、也)

明治二十九年七月一日

記録課長

明治二十九年七月一日

2

明治二十九年七月一日
同日發遣

主任

政務局

中田

送第一五二號

次官

大山陸軍大臣宛

外務大臣

伊集院公使該書記官ヨリ見玉臨時台灣電信

部長宛沖繩丸ニ関スル別封勅定書類差出

趣ヲ以テ右相函別紙寫ノ通該船建造ニ関ス

廿九年七月一日記録課檢印

外務省

結末報告在英加藤公使ヨリ送付致来

ニ一陪及申廻付ル右見玉部長へ申轉致相成度

此段申進也

与成多分上中下等ノ字花所等即空等取云云標考候

廿九年六月三十日 漢文 主管 政務局 日田

公第百七号

第百七十七號

次官

沖繩九回船長アレシ身分を問元件

沖繩九回船長アレシ候兼テ病氣未ナリ引替居ル處故
日指中輕快ノ趣ヲ去リ日本官ヲ訪問シ本人身分指
置ニ関シ陸軍者ナリ其後何事ノ刻令モ無之候若
拙守候身本官ニ於テ全ク其何方ニ接セザル旨申
聞カモ任屬今後其身ヲ如何ニ指置シテ可クヤ推テ
拙守候故本官ノ職務上何事ノ指置ヲ為ラズ能ハ
シモ若シ自身ニテ同ノ境況ニ立ツモトモ書面或ハ電報
ニテ陸軍者(其指置ヲ乞フカ若クハ身上初在ニテ
到底日本ノ歸航セザル旨得サレトモ全ク其身分一時モ
早ク歸日シテ直接ニ其筋ノ進退ヲ因出スル外無シト
思考スル旨申聞カモ任屬同ノ申述スル書面ニテハ

在英國日本公使館

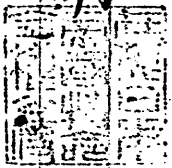
ナモ二箇月半ノ時日ヲ要シ自方歸航スル迄是ノ都合
モ有之ル旨申述スル電報モテ應問合致度トナシ
任守本官於テ沖繩九回船長ニ関シ職務上如何ニ
入時モ以テ了ラシムルモ最中同ノ對テ職務上何事
聞存スル有セザル旨右電報附合致度ノ旨申述スル旨
任守本官仍テ將來同ノ旨右事ノ件ニテ陸軍者(申述ス
ル旨)モ難計候旨右應答始末為合及具申答
可然因者ノ旨申述スル旨候故具

明治廿九年七月廿二日

在英特命全權公使

加藤高明

外務大臣伯耆陸奥奥美光殿



次官
お

明治二十九年七月一日通譯

記録課

浄書部 校正 原簿

2

明治二十九年六月廿二日申
同日七月一日發達

復

主任

政務局長 中田

送簿 一五三

大山陸軍大臣宛 外務大臣

沖繩丸船長アレシノ身分ニ関スル件ニ別

紙一通在英加藤多使ヨリ申越ル右字及

送付中

外務省

シカゴマシナシ字

九年七月三日 菅 政務局 中田 電信課

陸軍省 送甲第二〇九一號

次官 (小)

海軍省 送甲第二〇九一號
廿七日長崎港、ある、旨、臨時充て電報
送甲第二〇九一號
海軍省 送甲第二〇九一號
廿七日長崎港、ある、旨、臨時充て電報
送甲第二〇九一號
海軍省 送甲第二〇九一號
廿七日長崎港、ある、旨、臨時充て電報
送甲第二〇九一號

明治廿九年七月一日
海軍大臣 佐藤 大 山 殿

外務大臣 佐藤 西 寺 公 望 殿

海軍省 送甲第二〇九一號
廿七日長崎港、ある、旨、臨時充て電報
送甲第二〇九一號
海軍省 送甲第二〇九一號
廿七日長崎港、ある、旨、臨時充て電報
送甲第二〇九一號

加藤公使、電報
沖繩を以て七月七日、ある、旨、臨時充て電報
送甲第二〇九一號
海軍省 送甲第二〇九一號
廿七日長崎港、ある、旨、臨時充て電報
送甲第二〇九一號

中田

Kato,

London.

45. 沖繩丸 arrived safely
at 長崎 六月廿七日 Inform Brown
of this.

Saiouji.

Sent July 3 '96.

電送第五〇一號



陸軍省依頼

3-2066

0528

廿九年七月三日

主管 政務局 中田

發送 電報 第七一八號

受業 三九二二

本局六月分送第一三五號ノ以沖繩九形長
 形規程入ノ件ノ閣下在美國如係公使ノ書類
 寫本有大佐ノ書中有大佐ノ書其相成詳細ノ系
 數候而之沖繩九形書中有大佐ノ書其相成詳細ノ系
 相成候身ノ書其書中有大佐ノ書其相成詳細ノ系
 年加係之使契約ノ書其書中有大佐ノ書其相成詳細ノ系
 海中ノ船ノ書其書中有大佐ノ書其相成詳細ノ系
 債トシテ之書其書中有大佐ノ書其相成詳細ノ系
 公使ノ可成之書其書中有大佐ノ書其相成詳細ノ系

明治廿九年七月三日

外務次官 小村 陸軍省

臨時臺灣總督府 陸軍省 陸軍大臣 田中 陸軍省

廿九年七月七日

陸軍省



次官



次官

明治廿九年七月六日 記帳課長 淨書 校正 原 12

明治廿九年七月十三日 同 年 月 日 發達 主任

政務局長 中田

九

加藤時命令檢公使殿

西園寺外務大臣

海底雷線敷設船沖繩九島月廿七日長崎港

安着義閣陸軍大臣依頼依本月

外務省

三日第四十五号電報ヲ以テ由達置居處迄

有之は備令又同大官より同船ハ斯ク長崎ノ

着船後ニ付テハ該船長ヲ以テ同港マテ

回航ノ任務ヲ了スル義ニ便傳者異ニ閣下御

訂結ニ係ル契約ニ基キ本月一日同港ニ於テ解

備致シ且船海中ノ給與トシテ是價五拾磅并

本邦より倫敦マテノ上等船賃ヲ給シ隨意

歸國ノ費用皆周下ノ御通報ヲ以テ様依頼

有之目序右様御義和相の度は御申上
候御具

外務省

3-2066

0531

次官

明治二十九年七月二十日

記録課

明治二十九年七月二十八日起草
同 年 八 月 三十日發遣

生 休
明治二十九年七月廿九日發遣

淨書 校正

6

政務員 中田

送第九號

在真 特命全權公使加藤高明殿

外務大臣侯爵西園寺公望

臨時軍費分但前送支文の関元件

且東の支給在勤伊集院三善書記官の海陸電信

外務 少首

線書役形製造に亘る諸費支給取扱の及於可事

了費分但現金お振支支の及於可事本年待待

元十号の結果に於て大臨時軍費の本年三月三十一日

以テ終切に於テ特命全權公使の四月に於テ善通

令行に迄をえりて成り給へ申渡在製造諸費の

仕拂に於テ全行に善通令行に於テ終り決算に於テ

筋の本年全額に於テ現金お振支支の及於可事

累にえりて四月に於テ臨時軍費分但現金お振支支

行政的を以て電信建設部より好友小山教純、
 三台随々伊集院重純より分任資金取扱を本年三月三
 十日迄の間に對して臨時陸軍中央金櫃部長高村芝
 淵より分任安下より四月以降ハ好友小山教純より分任
 官卜の概に就て終し又伊集院重純より先便美
 税の決算並に整理方々編ハ小山好友に於テ
 係る取扱は其見出し臨時を以て電信建設部長
 伊集院重純より分任
 伊集院重純より分任
 外務省

好友
 好友

小村

廿九年七月廿日接

陸軍省 送甲 第二〇三〇號

陸軍省 送甲 第二〇三〇號

支第 〇五七

本月廿日送第一五三號... 陸軍省 送甲 第二〇三〇號

陸軍省 送甲 第二〇三〇號

陸軍省 送甲 第二〇三〇號

陸軍省 送甲 第二〇三〇號

陸軍省 送甲 第二〇三〇號

3-2066

0535

廿九年七月卅一日

記帳課長

明治廿九年七月廿四日起草

同

土佐

廿九年七月卅一日

次官

政務局長 中田

送第一〇〇號

在英

加藤公使宛

外務大臣

伊集院公使館書記官ヨリ臨時台灣電信建設部

長宛差少中沖繩丸ニ関スル勅定決算書類ヲ殘

全為換券相添該紙建造結文報告書志ニ

外務省

廿九年八月一日記録課接受

五月廿二日附公第百二十五号ヲ以テ再報告有之ヲ右

書類一括陸軍大臣ハ及移牒置テ處前記為

換券ニ對シ右建設部ヨリ事務官ヨリ伊集院書

記官宛別紙受領證書差少ヲ趣テ以テ同大臣ヨリ

送付有之ヲ用茲ニ及再廻附付ヨリ同書記官ハ

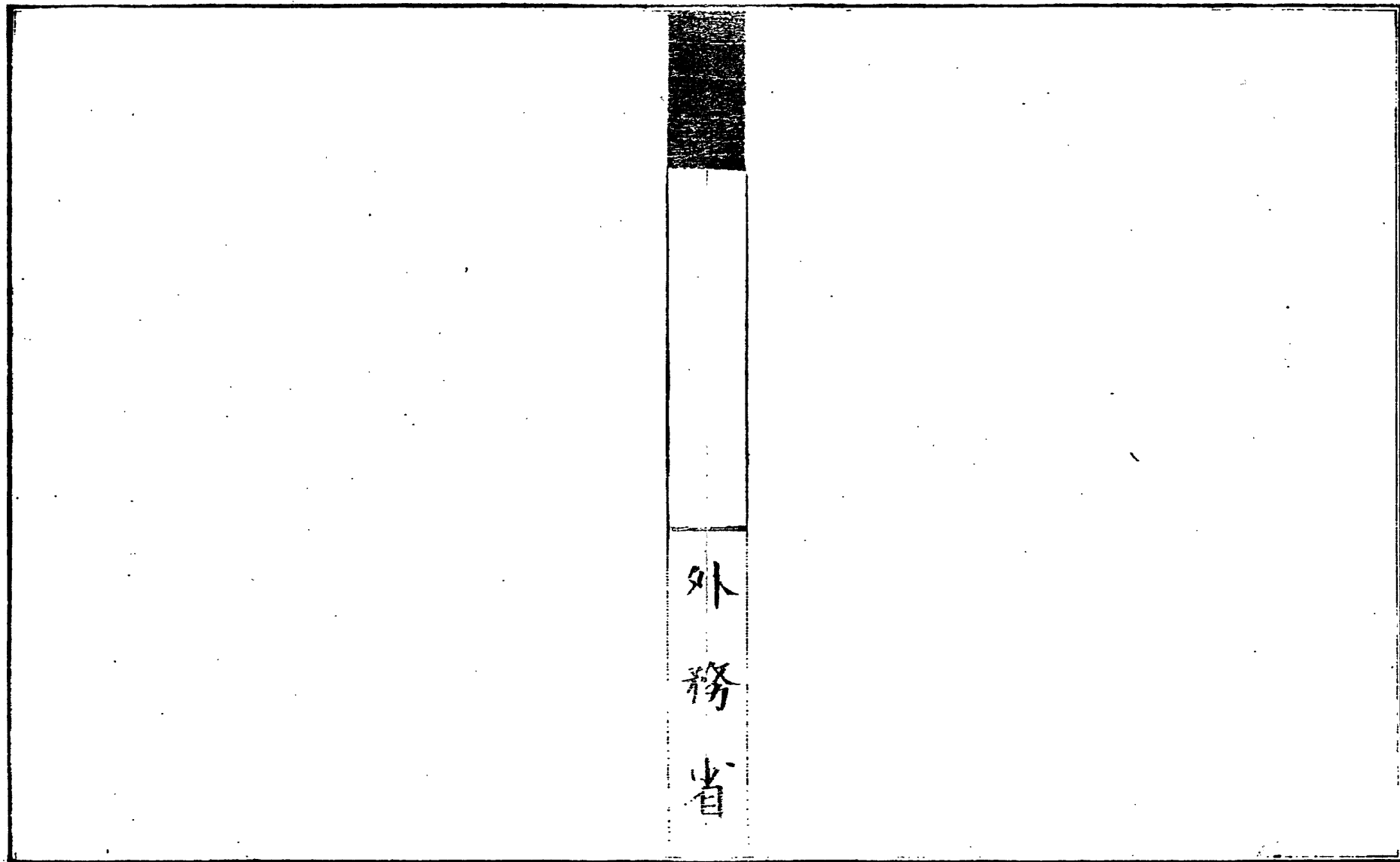
即轉致相成度此段申進テ敬具

道中沖繩丸建造ニ関シテハ閣下ヲ初メ種々

力相成諸事好結果ヲ得今更無事長崎ハ

到
着船し已ニ工事ニ着手致居ルニ付テハ閣下ヲ
初メ支々ハ謝意相表シ度ヲ得共不取敢一應ノ
謝辞申述置度旨閣下ハ通報致テ様口之旨
ヲ依頼有之事ト右様事取知相成度此段申候
也

外務省



外務省

3-2066

0538

陸軍省 送甲第二三九八號

明治廿九年七月廿五日

陸軍省 送甲第二三九八號

支第七七七八號

既、時、在、海、電、信、建、設、局、用、船、沖、繩、丸、回
 航、之、事、業、と、英、國、一、派、の、水、火、夫、長、以
 下、倫、敦、在、中、東、洋、の、五、人、寄、宿、所、に
 於、て、船、隻、の、幹、控、ヲ、受、テ、大、に、便、宜、ヲ、得、ト、ス、身
 報、効、下、ニ、テ、該、建、設、局、長、ヲ、贈、金、傳、達、ス、ト、
 家、在、英、如、之、席、公、使、が、成、ト、通、依、形、致、ス、ト、
 与、中、出、ル、旨、ヲ、統、取、計、事、務、長、に、以、出、及、照、會、
 也、
 明治廿九年七月廿五日
 陸軍大臣陸壽大山 謹啟

廿九年八月一日電報課接收

陸軍省

3-2066

0539

一 金五百圓

有、高郵用船沖浪丸在邦、也航舟
水、火、失、長、心、以、七、拾、餘、日、在、在、一、日、の、間
り、四、月、上、旬、と、三、十、月、久、之、と、美、國、海
軍、東、洋、海、軍、人、寄、居、所、に、旅、居、の、政
サ、セ、ト、交、換、の、儀、を、行、フ、事、ヲ、以、テ、一、萬、圓、ノ、銀
幣、を、送、付、ス、ル、事、ヲ、得、ル、事、ト、同、船
負、リ、且、申、上、ル、事、ヲ、以、テ、銀、幣、を、送、付、ス、ル、事
ト、シ、テ、交、換、の、儀、を、行、フ、事、ヲ、得、ル、事、ト、同、船
與、政、局、に、送、付、ス、ル、事、ヲ、以、テ、銀、幣、を、送、付、ス、ル、事
之、上、金、貨、之、後、方、出、取、斗、を、申、上、ル、事、ヲ、以、テ、銀、幣、を、送、付、ス、ル、事
考、換、券、の、送、付、の、儀、及、び、銀、幣、の、送、付、の、儀、

明治廿九年七月

法政學堂校長 法政學堂 謹啟



美國公使館書記官 敬

五百圓收証の徴に、() あり、及、び、
依、頼、の、儀、

法政學堂

以
封

明治二十九年七月三十日

詔書

浄書
校正
明治二十九年七月廿九日

明治二十九年七月廿八日起草
同 一年八月二十日發遣

監成
主 任

政務局長 中田

送第九七號

在英

加藤好吉少将の遺稿 西園寺公望大正

在倫敦在野黨人等が在野黨の件

臨時臺灣電信建設部用船中漫九回航路見

英、仏、米、露、水、火、火、長、以下倫敦在野黨

廿九年八月一日

外務省

外務省寄附の於て、秘書長、幹事、受取人、使臣

の氏名、住所、職名、氏名、職名、住所、氏名、職名、住所

の氏名、住所、職名、氏名、職名、住所、氏名、職名、住所

の氏名、住所、職名、氏名、職名、住所、氏名、職名、住所

の氏名、住所、職名、氏名、職名、住所

(在野黨) 加藤好吉少将の遺稿 西園寺公望大正

政務局

次官

廿九年十月十九日 受

法務部

中田

第 二〇九五〇

公券百号

陸軍省

陳洋對國人善者所贈金

官信電修局設部用船中經九回航
 高者國一風濤水火夫長以下海數
 岸在中東洋外國高者所
 船隻新設之及多九船剛トシテ同部
 多設高者所人金五百廿七船等英
 貨上於上存之志九斤高者所之平山百步
 了陸軍省行方右轉送方依類之儀予本
 年七月廿日附送英九十七多右重嘉
 中對人善者所贈金了予心儀等類
 款直之同高者所贈金送予心儀等類

明治廿九年九月十日

陸軍省

外務省

明治二十九年十月廿三日 遊録課長

明治二十九年十月廿三日 遊録課長

同 年 月 日 發 達

主任

淨書 校正 原簿

政務局長

中田

送第 二一九 號

高島陸軍大臣殿 大隈公使大臣

臨時台灣電信建設部用紙中漫九本印、同版

の、見、異、を、仙、老、水、火、火、長、以、下、對、し、録、寫、す、

給、紙、が、在、倫、敦、在、留、外、人、公、務、所、全、五、五、日

外務省

贈、り、の、紙、三、冊、九、合、券、九、紙、行、達、す、本、年、七、月、七、日

付、送、甲、第、二、三、九、八、号、の、紙、一、冊、送、り、給、紙、九、冊

送、り、の、紙、一、冊、在、英、米、公、使、館、に、送、り、給、紙、九、冊

送、り、の、紙、一、冊、領、事、官、に、送、り、給、紙、九、冊、表、し、送、り、

給、紙、九、冊、送、り、給、紙、九、冊、送、り、給、紙、九、冊

少

(副) 加藤三三三 附屬 館長 (一)



機密 第一三二二號

廿九年十月廿七日
廿九年十月廿八日

陸軍省 陸軍部 第三〇九二號



海底電信線布設用海軍沖繩丸新
造二付在英特命全權公使加藤高明及
一等海軍少將院務長若原力不才等
熱心努力して外紙辭令ノ通金貨給與致
官同省に在りて及照云々
明治廿九年十月廿六日

陸軍大臣青島勅諭之類

外務大臣青島大隈重信殿

延る等集院等分但現在省長及長官等
之通是又交付其事及下海等也

三十年一月九日記録課接受

陸軍省

廿九年十月廿八日 臺灣無線電

發送 臺灣電第九〇四號

青島駐用以計總九英國之於新造之艦隻力亦
候於原之便及伊集院領事之責與金持與方陸軍大
臣等亦有大臣、此等亦係身該金員所成之換者亦
及日送身、多之凡以多極之身故以之受身、上各為成之武
儀、亦未之領証、微之、此等之故、亦及之信、
候也

以迄一九一九年十一月五日

陸軍省海軍部大臣 齋藤實



外務大臣 小村壽太郎 殿

此等之金員、射、本有之領証、之、此等之金員、中、此等

三十年一月九日記録部接受

陸軍省

明治二十九年十月廿九日通濟

記録課長

起草

明治二十九年十月廿九日發遣

送第ニ二九號

主任

次官

庶務課

簿書課 校正

10

外務次官小村壽大計
臨時官清室(近)建設部長岡壽見玉源大計殿

沖繩丸新造ニ洛シ尽力相成ヌカ存公使

外務省

花、年集院於奉、贈与、貴與金類、
對スル為換着夫、本人、交付方所依來
ニ趣了之来右ニ奉、本人、傳達上、領收証
可及法上、年、身、領收証、出、依り、反
証、差、出、領收証、及、所、年、年、
一、法、上、年、身、領收証、及、所、年、年、

明治三十一年十月二十日

記録課長

校正原

明治三十一年十月二十日 起草 日發遣

主任

次官

事務課

1900

1900

送第一二一號

在英

江蘇省長壽古隈在任

特命長官授後加藤定成

津下海産電 信原在設用淡紙沖

外務省

電丸新造

二號

力不才 閣下(想) 別紙

三號 閣下(想) 閣下(想) 閣下(想)

右重家之弟 閣下(想) 閣下(想)

華新社之弟 閣下(想) 閣下(想)

右重家之弟 閣下(想) 閣下(想)

閣下(想) 閣下(想) 閣下(想)

閣下(想) 閣下(想) 閣下(想)

明治三十一年十月三日

記録課長

浄書 校印 8

明治三十一年十月三日 起草 發遣

主任

次官

庶務課

第一五五號

在在

外務省官村表大庁

一等領事官集院表去殿

貴分任官現金表渡官吏ヲ免レ及右表

外務省

送ニ送レ居方不少庫以テ全至五百圓總支

之請合表表長ニ送金款ニ送金一送

送金至手紙ニ送金表長ヲ陸軍省長ニ依

求有ニ送金表長ニ送金表長ニ依

上ニ送金表長ニ送金表長ニ依

送金表長ニ送金表長ニ依

送金表長ニ送金表長ニ依

廿九年十一月十九日

幸晉庶務課



政務局

二十九年十一月十九日

公文二九七號

變第 二〇七號

辭令詰書及領收証送付了件

海底線布設船製造に關する決費分
任官規程を以て官吏ヲ免し及以製造
に關する力せし廉ヲ以て慰勞トシテ
官へ金百圓贈與し辭令詰書ニ添付
額ニ對せん才一銀リ送付了件
送方陸軍省ヨリ囑托書亦添付
去月二十日付送才一五一號一ヲ以テ送付
未取領收証外依テ以辭令詰書ニ
直及領收証收付了件送付了
在朝鮮國金山港 日本領事館

中道了敬具

昭和廿九年十一月十日

在任

正務領事 保集院 彦吉



外務次官少輔 壽太郎殿

卅年一月十九日 奉 主 菅 庶務 議

政務局

中 臣

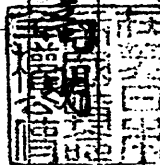
公第百廿九号

次官 閣下

海底電信線敷設用船沖繩丸新造之際、
力候廉ヲ以テ其慰勞トシテ金參百圓陸軍大臣ヲ本官ニ贈與
有之ニ趣去十月三十日付送第一二一号ヲ以テ申越相叙
且以時ニ該金圓解令書ト共ニ所送付相叙ニ致領取
ト即、所來示ニ從テ別紙受書及領收書相認、且所
御付下間可然所轉達相叙度此段四答申進候
敬具

明治廿九年十二月九日

特命全權公使加藤



外務大臣

伯爵大隈重信殿

三十年一月廿五日 記録課 第 号

在英國日本公使館

Table with 12 vertical columns and 1 row, currently empty.

明治三十年一月二十五日謹書

記録課長

明治三十年一月廿三日

明治三十年一月廿二日
同日廿七日發遣

主任

送第七號

次官

廣務課

外務次官小村壽吉印

臨時臺灣軍管區設部員壽吉印

三十年一月廿五日

外務省

沖繩の新政造に際し
伊集院使領事一贈与の事
其の爲に換書文を本人一傳
送し致し置
要別紙の通り各本人より
領收記号
を付し
其の事
を
記
す
事
也

天

世作一月廿九日受 主菅 庶務課

香洲電第一〇五六號

印

第一〇五七

沖繩九洲造、陸軍省に於て、海軍省に於て、加藤公使
並、中、信、東、院、領、事、の、贈、與、の、旨、を、金、子、封
せん、爲、總、務、長、官、に、海、軍、省、及、陸、軍、省、に、對
し、右、各、本、人、に、受、領、証、を、發、給、し、以、て、其、旨、を、
領、事、に、送、り、給、ふ、に、最、前、に、是、の、旨、を、
及、海、軍、省、に、送、り、給、ふ、に、最、前、に、是、の、旨、を、
及、海、軍、省、に、送、り、給、ふ、に、最、前、に、是、の、旨、を、
及、海、軍、省、に、送、り、給、ふ、に、最、前、に、是、の、旨、を、

陸軍省 信濃守 渡部 武吉 齋 源 大 郎

小 路 次 郎 小 村 尊 大 郎 殿

陸 軍 省

3-2066

0552

受領證

一 金 貳 百 圓

但沖繩丸製造之際尽力慰勞トレテ加藤

公使ニ貴典金一圓金銀行為換券一葉

一 金 貳 百 圓

但今上御集院領事ニ貴典金一圓銀行送金

手形一葉

右正領収矣也

明治二十九年十月廿八日

外務大臣官房庶務課

外務大臣官房庶務課

外務省

廿年八月四日接受

主管 政務局

陸軍省 送甲第二二二〇號

第九〇三二

海軍大臣青木大隈謹啟
陸軍大臣青木高純
海軍大臣青木大隈謹啟

陸軍大臣青木高純

廿年八月十八日

陸軍省

3-2066

0554

卅年八月十八日 達

記録課長

淨書 校正

10

明治三十一年八月十八日 發達

政務局長



五

次官



九三

在華

加藤持命 参事

大隈外務大臣

臺灣ノ交通ニテ海底電線布設ノ為テ漢口

沖漢ノ新造并臨時ノ雇員ノ加長ノ權限

外務省

及田旅方等 義 閣下ニ於テ大ニ轉旋

富力 閣下ニ於テ 閣下ニ於テ 閣下ニ於テ

ノ去月九日ヨリ今般落成ニ至ルニ通信開始

ニト相成ルニ存其旨閣下ノ通報等其様陸軍

大臣等ニ申候同大様御事知相成ルニ候旨

臣等具